

埼玉県学力・学習状況調査に係る効果的な取組事例（小学校・国語）

松伏町立金杉小学校

1 本校の概要

(1) 埼玉県学力・学習状況調査の結果等

学年	伸びた層			本事例で取り上げた観点				左記以外に取り上げた主な取組
	上位層	中位層	下位層	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	
5			○		○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の約束・5校は一つ松伏っ子の活用 ・松伏スタンダードの活用

※ 「伸びた層」は、一番伸びた層に『○』。各層において同じ伸びの場合は、複数の層に『○』。

(2) 伸びた結果の要因、背景

- ・昨年度、学年において、基礎基本の定着を図る取組を行ったこと
- ・授業時、ノート指導等の徹底が充実していたこと
- ・家庭学習の内容の細かい指示（例・主語・述語等）
- ・学習規律の徹底
- ・一昨年度は1学級だったものが2学級になったことで、個別の指導が充実したことも要因としてあげられる。

2 具体的な取組

(1) 教育委員会との連携による取組

松伏町教育委員会と連携し、作成された「授業の約束・5校は一つ松伏っ子」「5校は一つ松伏スタンダード 松伏町の先生方全員のこだわり」等をもとに、めあて（課題）を明確にするために、必ず板書をしたり、振り返りの時間の確保を徹底したりしてきた。また、松伏町評価点検者からの評価を生かし、全職員における授業改善を図ってきた。

(2) 本校独自の取組

本校では、平成21年度から7年間、国語科を中心に校内研修を行った。様々な取組の中、短作文を書く活動を継続してきた。また、群読集会についても継続して行い、それに向け、毎朝各学級で大きな声で群読練習をした。また、全校で「多読書賞」の表彰やボランティアによる読み聞かせ等、読書活動にも力を入れてきた。さらに、全校児童が作成した「言葉のミュージアム」（ことわざ・慣用句等）という掲示物の作成、掲示も行った。



朝の学力アップ教室



県学調の課題への取り組み

3 成果と課題

(1) 児童の変容した（伸びた）姿について

県平均を大きく上回り、伸び率も高い。特に、読む能力と書く力が高い。記述式の正答率が高い。重要語句の書き抜き、ことわざ・慣用句に昨年度の成果が見られる。

(2) 分析結果を受け、これからの実践に向けての課題

修飾・被修飾の関係には課題が見られた。本年度より学力アップ教室において、算数科だけでなく、国語科にも重点をおいている。また、質問紙等によると児童は、友達との学び合いや理由づけをしての発表への不十分さを感じている。それらについて、意識的に取り組んでいく。